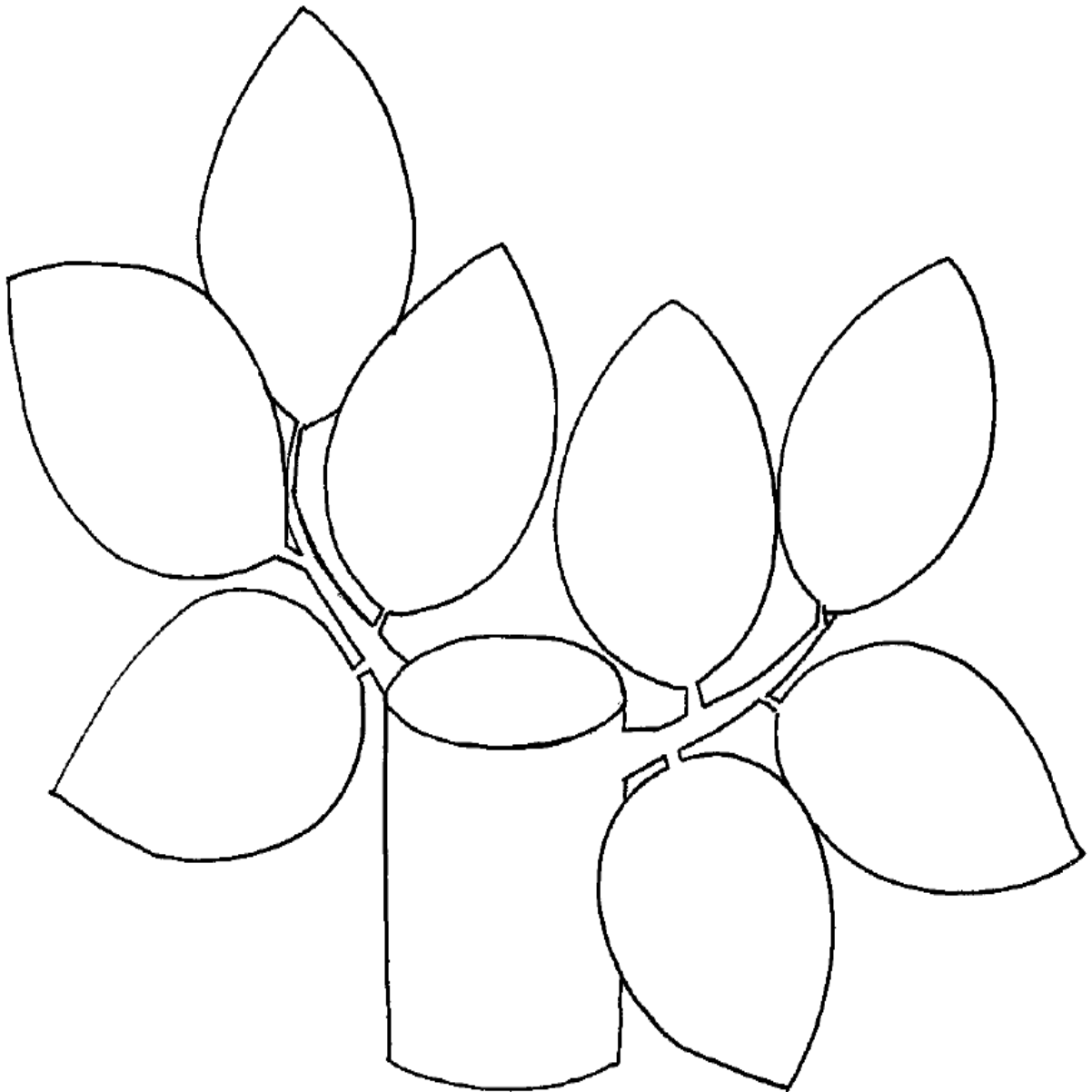


タイトル (活動概要)	16 たくさんの葉	アプローチ (関連する力)	「自分づくり」① ② 「仲間づくり」④		
タイミング (実施時期)	4月、9月、1月、3月	活動 場所	教室・保健 室・相談室	所要 時間	50分
対象学年	幼・小低・ <u>小中</u> ・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	個人	活動 場面	道徳 学活
活動の ねらい	〈背景〉他者への感謝や思いやりの気持ちが乏しい ・自分が多くの人との関わりの中で存在していることを意識する ・周囲の人に助けられて生活している実感を持つ ・お世話になった人に、自分ができることはないか考える				
準備	・ワークシート ・ふり返りシート				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入(5分)					
お世話になった家族や友だち、先生などのかかわりを思い出そう					
2 主活動(35分) ・葉っぱに、自分とかかわりのある人の名前を書く ・書いた中から何人か選ぶ ・選んだ人に以下のことを書く ①してもらったこと ②してあげたこと・これからしてあげたいこと ③その人に今、伝えたい言葉 ・名前を書いた人から何人か選んで、①～③を記入する		・自分と関わりがある人をできるだけたくさん書き、葉っぱがたりないときは自分で増やす ・人はひとりで生きているのではなく、多くの人との関わりの中で現在の自分があること、お世話になっている人に、自分ができることはないか考えて行動すると、より深い人間関係が築ける旨を話す ・毎日、少し時間をとって、その日の人との関わりや、家族や友人について考えることで、自分が多くの人に支えられている実感が得られる ・選んだ人については、急いで書くのではなく、できるだけ丁寧に思い出して書くようにする		ワークシート	
3 ふり返り(10分) ・ふり返りシートに記入する ・感想を交流する				ふり返りシート	
配慮事項	・親しい人を亡くした喪失体験を間近にした子どもがいないか十分に配慮してから行う ・年度始めや、長期休業あけなどに目標を設定と一緒に用いたり、年度末のまとめと一緒にあったり等他の活動とあわせることが可能(1年でお世話になった人を思い出そうなど) ・4月、9月など異なる時期に同じ子どもに行うことで、子どもの人間関係の広がり・変化を捉えることもできる ・登場させる人を、例えば先生と友だちなど、〇〇の人と限定して行ってもよい ・個別支援学級や保健室登校、相談室登校の子どもについては、実態に応じて言葉を補って説明したり、時間を調整して行ったりすることで、内容を深めることが可能である ・ワークシートはB4版で、左ページに葉っぱに名前を書くシート、右ページに2人分の①～③を書くシートとし、3人以上①～③を記入する子どもには、B5版で2人分の①～③を書くシートを追加で与える				

たくさんの葉①

★ここにたくさんの葉がついた木があります。あなたと関係がある人を思いだして、葉っぱに名前を書いていきましょう。たくさん思いだして葉っぱがたりなくなったら、自分で葉っぱを書いて増やしてください。



★葉っぱに名前を書いた人の中から誰かを選び、選んだ人について

- ①してもらったこと・迷惑をかけたこと、
- ②してあげたこと・これからしてあげたいことを書こう。そして、
- ③ひとことその人にメッセージを書こう。

●（ ）さん

①してもらったこと・迷惑をかけたこと

②してあげたこと・これからしてあげたいこと

③（ ）さんにひとこと

●（ ）さん

①してもらったこと・迷惑をかけたこと

②してあげたこと・これからしてあげたいこと

③（ ）さんにひとこと

たくさんの葉～ふり返しシート～

年 組 名前

★今日の活動をふり返って、あてはまる数字に○をつけてください。

4 よくできた 3 まあまあできた 2 あまりできなかった 1 できなかった

- ・進んで取りくめましたか 4-3-2-1
- ・参加して楽しかったですか 4-3-2-1
- ・友だちなどにしてもらったことを
思い出すことができましたか 4-3-2-1
- ・友だちなどにあげたいことを
考えられましたか 4-3-2-1
- ・多くの人とのかかわりで、今の自分
があることがわかりましたか 4-3-2-1

★今まで、他の人からしてもらったことで、いちばん思い出に残っていることは何ですか？

()

★これから人とかかわるときに、自分は何を大切にしていきたいですか？

()

★今日の感想を書いてください。

()